

日本の トップランナー企業

PR

ファイインバブル(微細泡)の洗浄力生かした家庭用品を開発販売

髪の毛の直径よりも小さい微細な気泡を活用したファイインバブル洗浄技術が注目を集めている。ファイインバブルは国際標準化機構（ISO）によって規格化され、直径100μm（マイクロは100万分の1）未満で1μm以上の泡を「マイクロバブル」、それより小さい直径1μm未満の泡を「ウルトラファイインバブル」と呼ぶ。S.K.H.（エス・ケイ・エイチ、大阪市中央区）は「アクアビュル」のブランド名で、ファイインバブルを発生させる機能がついた家庭用シャワーヘッドなどを販売している。元々、貿易商社として日本製の工具などを輸出する業務を行っており、そこで培った品質や技術を見極める目や顧客に寄り添う姿勢を大事にしながら、満足度の高い製品づくりを続ける。

洗濯機用を市場投入

2023年3月、洗濯機の給水口用ファイインバブル発生器「ピッコロ」を正式リリース

特にウルトラファイインバブルは水中での滞在時間が長く、洗剤の成分を吸着して繊維のすき間に入り込み、洗剤成分が汚れをはがし取る効果を高めるとい

S.K.H.



超微細泡で洗濯革命。

洗剤の成分を吸着して繊維のすき間に入り込み、洗剤成分が汚れをはがし取る効果を高めるとい

れいに洗うことができた、さすがの回数を減らすことができたという声を聞いて「と話す。

現在、主力商品はファイインバブル発生器を内蔵したシャワーヘッド「ポヌール」。マイクロバブルやウルトラファイインバブルが毛穴まで入り込み、汚れを吸着して洗浄するほか、5段階の水流切り替え機構を備え、美容

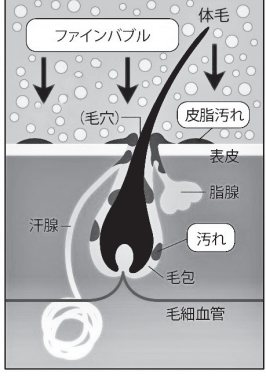
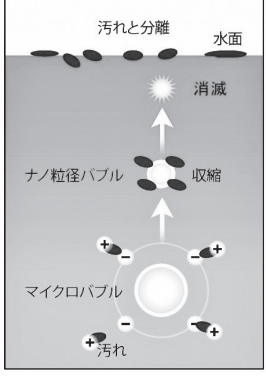
・美顔商品として高い評価も受けている。また、キッチン水栓用の発生器は台湾のレストランチェーンなどで採用されているほか、ポンプで加圧してファイインバブルを生み出す産業用発生器は水質改善や肉質向上などに効果があるとして、ウナギやエビの養殖池などで使われている。

思い共有し商品開発

2004年に貿易商社として設立。18年に新規事業として「アクアビュル」ブランドを

ファイインバブルの効果

毛穴(約200μm)の奥までファイインバブル(約50μm)が入るため、皮脂洗浄に大きな効果を発揮します。またファイインバブルはマイナス電気を帯びておりプラス電気性の皮脂等を吸着する働きがあります。



立ち上げ、ファイインバブル発生器の企画や販売に乗り出した。現在、貿易商社としてはペンチやニッパーとい

て使い勝手や切れ味、重さなどを確認し、納得したものだけを取り扱っているほか、年2回は国内の工具メーカーの担当者とともに、海外のエンドユーザーのもとを訪れ、実際に工具を使っている様子を見たり、使っている人の意見を聞いたりしている。

ファイインバブル発生器も、林社長自身が自宅で半年から1年間の長期にわたって使用し、使い心地や効果を確かめた上

た工具や半導体用資材を台湾、香港、シンガポール、米国などに輸出している。林社長は自身、工具を手を取

て使用し、年2回は国内の工具メーカーの担当者とともに、海外のエンドユーザーのもとを訪れ、実際に工具を使っている様子を見たり、使っている人の意見を聞いたりしている。



林 裕貴 社長

で、市場投入している。今回、「ピッコロ」は正式リリース前に「孫がアトピーで湯舟にクラウドファンディングサイトを通じて先行販売し、申し込みのあったサポーターの方々にモニターになってもらい、意見を募って、さらに品質改良につかるところ、湯舟を張ってはどうかと提案したところ、湯舟染防止、環境にやさしい産業技術の確立などにつながる商品づくり最終目標だ。

き、悩みや思いも共有することで満足度の高い商品を開発したい」と意欲を燃やす。

にも取り組んでいる。元々、ファイインバブル事業は、林社長が半導体工場のクリーンルームで、業務用の発生器を見たことがきっかけだが、学生時代に阪神・淡路大震災を経験し、水のない生活を強いられたことも影響しているという。「今、貧困や飢餓で苦しみ、清潔ではない水を飲んで暮らしている人たちが少なくない。すべての人がきれいな水を飲める世界を実現したい」と林社長。ファイインバブル洗浄技術を開発することが事業拡大や経営基盤安定の先にある最終目標だ。

水浄化で社会貢献

同社では「大自然からの恵みを最高な形に替えて」というスローガンを企業として掲げている。ファイインバブルの汚れや油分を吸着する力や、洗剤使用量を最小限に抑えられる特徴を生かし、国連が2030年までに達成を目指す「SDGs（国連の持続可能な開発目標）」にのっとり、水の浄化や海洋汚染防止、環境にやさしい産業技術の確立などにつながる商品づくり最終目標だ。

AQUA Bulle®
アクアビュル

株式会社 S.K.H.
本社 〒542-0082 大阪市中央区島之内1-20-7
TEL.06-6251-2477 FAX.06-6251-2489
URL <https://aquabulle.co.jp/>